

施工手順及び、路盤構造

■ 施工手順 Process

① クッション砂の敷き込み

路盤の上に乾燥した粗目または中目の砂を平坦に敷きつめます。この時、砂層が平坦になるよう、十分に敷きならすことが大切です。敷き込んだ砂の上には立ち入らないよう、工程上の段取りを考えておきます。

② ブロックの敷設

ブロックはレベルの出し終わったクッション砂の上に置き並べるように敷設します。ブロックを砂の上で引きずらないよう、特に注意して扱ってください。

③ 端末ブロックの処理

縁石とのすき間など、形状が違いブロックが敷けない箇所は、特殊工具を用いて標準ブロックをカッティングし、現場の形状に合わせてください。

④ 転圧・目地詰め

ブロックの敷設が終わるとコンパクターでブロック上を数回転圧し、入念に平坦仕上げを行います。さらに、乾燥した細目の砂をホウキなどで目地に十分充填されるまで詰めます。最後に余分な砂を取り除き、仕上げとします。



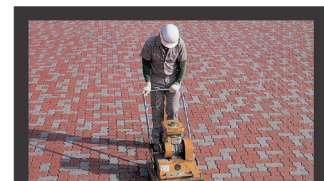
Process.1



Process.2



Process.3

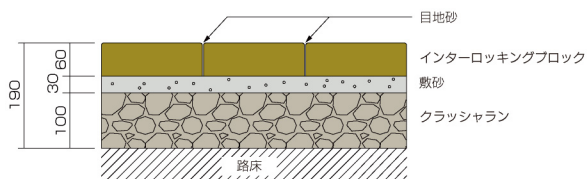


Process.4

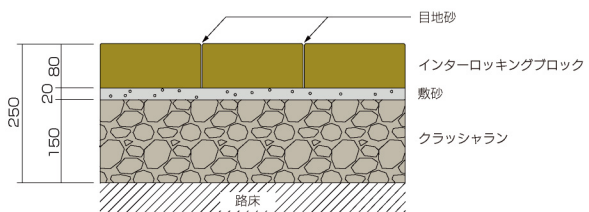
■ 路盤構造例 Subgrade structure

設計条件：設計 CBR3 以上 単位：[mm]

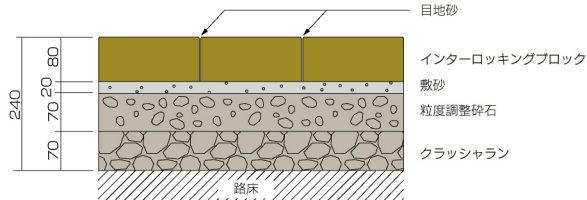
● 歩行者系道路（歩道・広場）



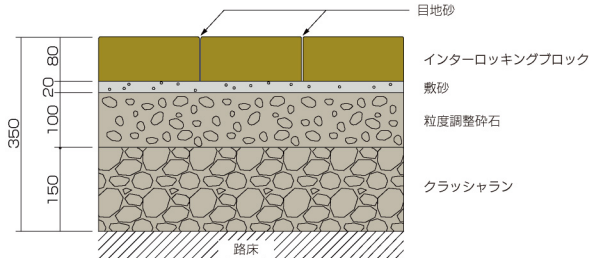
● 乗用車乗り入れ部および最大積載量 6.5 トン未満の管理用車両が走行する道路



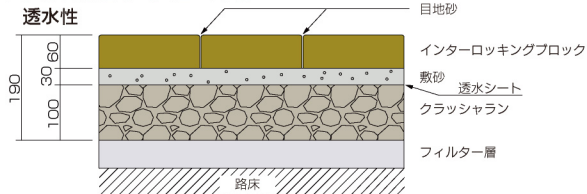
● 歩道の車両乗り入れ部、乗用車および小型貨物車程度の駐車場



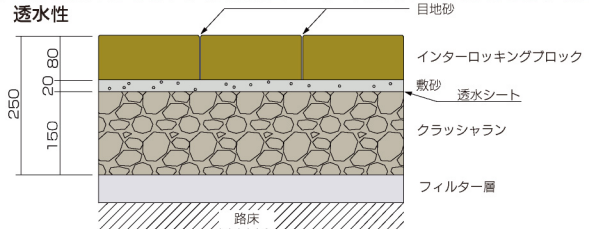
● まれに大型の通行がある道路



● 歩行者系道路（歩道・広場）



● 乗用車乗り入れ部および最大積載量 6.5 トン未満の管理用車両が走行する道路



※写真の色調は印刷のため、多少異なる場合があります。